

「広報さっぽろ」の大幅リニューアルについて

平成16年度の「市民アンケート調査（対象1万人）」では、「広報さっぽろを必ず読んでいます」と答えた方は57.7パーセント。前回（14年度）と比較して、6.1ポイント増加しています。「時々読んでいます」と答えた方と合わせると、86.6パーセントで、5.1ポイントの増加です。

今年度は、さらに多くの方に読まれ、親しまれる広報誌を目指して、読者の声や広報モニターの見解なども踏まえながら、5月号から、誌面デザインをはじめとする大幅なリニューアルを行うこととしました。

また、経費削減のため、表紙の紙質を、本文と同じものに変更しました。

誌面デザインを一新

平成13年1月号以降、約4年間採用してきた誌面デザインについて、新鮮さと分かりやすさの観点から見直しを行い、表紙（題字や目次）をはじめ、誌面全体のデザインを一新することとしました。

新企画もスタート

地域のまちづくり事例を全市にPR

市内87カ所のまちづくりセンターを拠点とした地域のまちづくり事例を紹介する連載企画「あなたの声が街を変える」をスタート。まちづくりへの積極的な参加を促がすとともに、地域の取り組みを他の地域にも広げていくことを目指します。

子どもにも、市役所の仕事を分かりやすく紹介（6月号から掲載予定）

市役所の仕事を分かりやすく紹介する連載企画「何やってるの！？市役所って」を子ども向けにリニューアル。将来のまちづくりを担う子どもたちにも親しまれる広報誌を目指します。

観光施設などとのタイアップによる読者プレゼントを充実

読者サービスの一環として、市内の観光施設などとのタイアップによる読者プレゼントを充実。5月号では芸術の森と彫刻美術館で開催する「本郷新展」および「時計台・テレビ塔」の共通入場券を抽選でプレゼントいたします。

また、羊ヶ丘展望台と藻岩山ロープウェイのお得な割り引きクーポンも提供し、施設の集客にも役立てていきます。

表紙の紙質変更により経費を削減

平成17年度予算の編成に当たり、全庁を挙げて実施した「事務事業の総点検」。広報誌の仕様においても、コート紙（上質紙に塗料を塗って光沢を高めたもの）の表紙を本文と同じ中質紙に変更することで、印刷製本費を約2,300万円削減しています（前年度比で約5%の減）。

広報さっぽろ発行データ

発行部数 890,350部（17年5月号）、印刷製本費 455,830,000円（17年度予算）